



カラフル

ちがいは宝物 ～響かせよう！蟹江のハーモニー～

蟹江小学校だより

第17号

令和8年9月11日

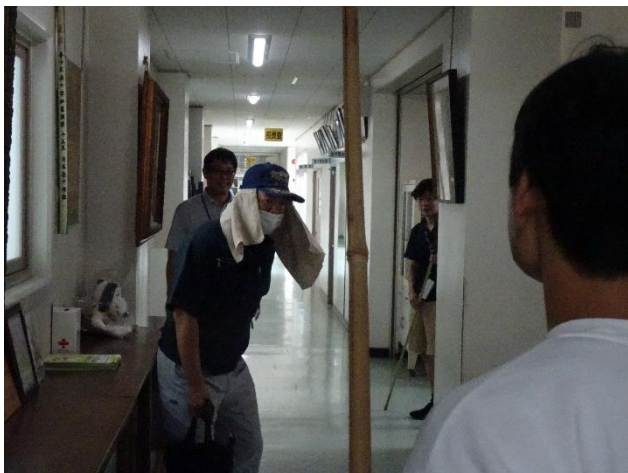
発行者：佐古達哉

♪「いのち」を守れる学校に

2学期が始まって2週間が過ぎようとしています、学校生活の再開にあたっては、何より自分や仲間の「いのち」が守れる学校を改めてみんなでつくってほしいと願い、早速さまざまな取組を進めました。

2学期初日の1日（火）には、「あいちシェイクアウト訓練」に参加をする一環として、全校で地震発生時の身の守り方について確認をしました。

さらに翌日の2日（水）には、蟹江警察の方にもご協力をいただき、不審者が授業中の学校に侵入をした想定で、教職員・児童の対応や情報伝達の方法について確認をする「不審者対応訓練」を実施しました。先日の「学校だより」でもお伝えをした夏休み中の教職員による現職教育での学びを生かして、実際に対応訓練をしたことで、不審者対応における大切なポイントや課題について、実態に即したポイントを確認する貴重な機会になりました。



さらに夏休み中には、6月に東京都の小学校で発生した火災の事案を受けて、定期的な学校の消防設備点検に合わせて、避難器具の使用状況や器具の状況について確認をしました。今回は実際に、北館4階から屋外に避難をする「救助袋」を体験しながら点検・確認をしてもらいました。万一の時に「いのち」を守れる環境をしっかりと整えておく大切さを、改めて見直す機会となりました。



♪ 最後の「運動会」

本校では、よりよい学校づくりが確実に前進するよう、教職員はもとより、児童や保護者の皆様にアンケート等を実施して、行事や諸活動の取組についての見直しを日常的に進めています。この取組の中で、本校の「運動会」について、特に学校経営方針である「ちがいは宝物」というスローガンの面からも、多様な子どもたちに寄り添える行事へと、さらに見直す必要性について意見をいただく機会が多くありました。

このことを受けて、特に学校の中心として頑張る高学年の子たちの意見や思いを大切にする意味からも、4・5年生の子たちを対象に、夏休み前に現状を説明して、夏休み中に個々に考える時間を確保した上で、出校日にアンケートを実施しました。

このアンケートの集約結果としては、7割以上の子たちが「みんなが楽しめる新たな運動会にしたい」という回答をしていたことから、教職員でも子どもたちの思いを踏まえた上で話し合いをした結果、「来年度からの運動会を、子どもたちの思いや考えを取り入れながら、みんなが楽しめるものに見直す」ことにしました。

この決定を受けて今日の朝には、全校児童に「今の形で行う『運動会』は今年度が最後」ということを、私から伝えました。その上で、今の6年生が中心になり、全校みんながこれまで以上に協力をして、「これまでの形で行う『最後の運動会』を全力で締めくくる」ことをお願いしました。

保護者や地域の皆様におかれましても、こういった状況をご理解いただき、10月に開催する「最後の運動会」を、共に盛り上げていただきますよう、ご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。また、次年度以降の「新しい運動会」の計画につきましても、PTA等を中心に保護者の皆様にもご協力いただき、さまざまな視点から「みんなが楽しめる運動会」になるよう、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

♪ ご協力ありがとうございました

保護者の皆様におかれましては、8日（火）の豪雨によるお迎え下校に関して、急なお願いにもかかわらずご協力をいただき、ありがとうございました。

学校周辺は、低学年の下校を中止するとすぐに冠水し始め、学校でも普段は管理棟と中館の間に停めていた先生方の車の床面に、みるみる水が近付く状況になり、中・高学年の授業をしていた先生方も交代で運動場に車を避難させる状況になりました。

翌日は、冠水の影響で荒れていた校地の環境整備をするため授業開始を遅らせましたが、復旧が間に合わないような大きな損壊なく3時間目から授業が開始できて安心しました。この日の登校・下校時間の変更につきましても、ご協力をいただき、ありがとうございました。

冒頭の記事にも書きましたが、何より「いのち」を守れる学校であることを大切にしつつ、これからも学校づくりを進めていきたいと思えます。今回の対応につきまして、何かお気づきのこと等ありましたら、遠慮なく学校まで教えていただけると嬉しく思います。

